



市議会だより



ガラスにとまったホタル（大東町海潮地区）

平成28年 6月定例会

● 6月定例会報告	2
● 主な6月補正予算、議案の審査と結果	4
● 委員会報告	5
● 一般質問	7
● お知らせ	10
● 議会報告会、編集後記	12

の補正予算を可決



平成28年6月定例会は、6月1日から15日まで、15日間の会期で開催しました。平成28年度の一般会計及び特別会計等の補正予算や、家庭的保育事業に関する条例の一部改正など、上程された36件の議案に対し慎重に審議した結果、全議案とも、原案のとおり可決しました。

また、一般質問には10名の議員が質問に立ち、市政を質しました。

一般会計 2,620万円

(補正後総額 282億2,920万円)

特別会計等の補正

会計名		補正額	補正後総額
国民健康保険事業特別会計		527万円	53億7,087万円
簡易水道事業 //		996万円	7億9,956万円
生活排水処理事業 //		569万円	28億2,819万円
水道事業会計	(収益的支出)	315万円	8億6,164万円
	(資本的支出)	△37万円	8億2,704万円
工業用水道事業会計		5万円	6,845万円

● 経営体育成交付金



● 障がい者デイサービス施設整備



主な6月補正予算

内 容	補正額
災害被災地支援（熊本地震による被災者が本市に避難し居住された場合に生活支援金を支給）	225万円
消防機器整備（三刀屋総合センターに設置してあるサイレン制御盤の修理）	61万円
ケアポートよしだ改修補助金（居住棟設備更新ほか大規模改修工事の補助金）	577万円
障がい者デイサービス施設整備補助金（生活介護事業所・雲南広域防災センター整備の補助金）	600万円
経営体育成交付金（新規法人又は法人設立のために必要となる機械及び施設整備の補助金）	1,379万円
地域貢献型集落営農ステップアップ補助金（農業機械導入に対する補助金）	1,094万円
中山間地域等担い手収益力向上支援補助金（法人集積地で高収入作物の作付に対する補助金）	110万円
企業誘致推進（中心市街地活性化事業区域へのホテル誘致に伴う物件調査業務委託費）	558万円
鉄の道文化圏推進協議会負担金（日本遺産の認定に伴う情報発信やPR経費）	40万円
高齢者による地域活性化促進（高齢者が主体的に地域参画に関われるよう事例研究等を行う）	100万円
土曜日の教育支援（未来のリーダー育成のため「プラチナ未来塾@会津」へ中学生を派遣）	110万円
加茂岩倉遺跡管理（案内看板設置に伴う測量設計業務）	100万円
コミュニティ助成補助金（吉田地区振興協議会の和太鼓整備）	250万円
簡易水道事業特別会計（平成28年1月水道管凍結に伴う漏水減免還付金）	45万円
生活排水処理事業特別会計（平成28年1月水道管凍結に伴う漏水減免還付金）	196万円
水道事業会計（平成28年1月水道管凍結に伴う漏水減免還付金）	157万円

議案の審査と結果

条 例	採決結果	採決状況
雲南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	全会一致
承認・一般事件・同意・諮問事項	採決結果	採決状況
平成27年度雲南市一般会計補正予算（第8号）の専決処分	承認	全会一致
平成27年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分	承認	全会一致
平成27年度雲南市農業労働災害共済事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分	承認	全会一致
平成27年度雲南市簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分	承認	全会一致
平成27年度雲南市生活排水処理事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分	承認	全会一致
行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正の専決処分	承認	全会一致
雲南市消防団員等公務災害補償条例の一部改正の専決処分	承認	全会一致
雲南市税条例等の一部改正の専決処分	承認	全会一致
雲南市国民健康保険条例の一部改正の専決処分	承認	全会一致
公の施設の指定管理者の変更について	可決	全会一致
市道の路線廃止について	可決	全会一致
市道の路線認定について	可決	全会一致
人権擁護委員候補者の推薦に付き意見を求めることについて（3件）	適任	全会一致

報 告
幼稚園保育料に関する権利（債権）の放棄
学校給食費に関する権利（債権）の放棄
簡易水道料金に関する権利（債権）の放棄
水道料金に関する権利（債権）の放棄
病院医療費に関する権利（債権）の放棄
平成27年度雲南市一般会計繰越明許費繰越計算書
平成27年度雲南市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
平成27年度雲南市生活排水処理事業特別会計繰越明許費繰越計算書
平成27年度雲南市水道事業会計予算の繰越計算書

平成28年度補正予算	採決結果	採決状況
一般会計（第1号）	可決	全会一致
国民健康保険事業特別会計（第1号）	可決	全会一致
簡易水道事業特別会計（第1号）	可決	全会一致
生活排水処理事業特別会計（第1号）	可決	全会一致
水道事業会計（第1号）	可決	全会一致
工業用水道事業会計（第1号）	可決	全会一致

総務常任委員会

委員長 佐藤 隆 司

(議案の審査)

委員会に委託された1件の議案について審査し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(予算の審査状況)

・消防機器整備事業

三刀屋総合センターにあるサイレン制御盤を修繕する6万5千円の補正予算について。

当サイレンは3月に故障しているが、緊急対応がなされたのか。また、



三刀屋総合センターサイレン塔

防災行政無線やFM緊急告知ラジオを検討し断念された経緯から、災害時の屋外用情報伝達手段としてサイレン施設の必要性や6町の設置状況等について質しました。

故障には4月から対応したが部品の調達に時間がかかり、6月末に修繕が完了する。予算執行は現計予算で対応し、補正予算成立後にもとに戻すこととしている。

サイレンの必要性につ

いては、屋内の情報伝達手段は音声告知放送等多くあるが、屋外の伝達手段が乏しく、重要な手段の一つと考えている。サイレンは、掛合町以外の5町には設置してあるとの答弁でした。

サイレンの伝達範囲のカバー率の程度、6町の均衡性から掛合町にも設置するべきではないかとの問いに、カバー率を調査したものは無い。掛合町においては合併時に地域と協議がなされ、現在に至っているとの答弁でした。

危機管理業務は、地域との協議も重要であるが、市の方針を示すことこそが必要ではないかとの指摘に、今後、地元と協議していきたいとの答弁でした。

災害時の情報伝達手段の多様化を目指していることから、サイレンについては6町の均衡を図ることが必要であることを求めました。

(休会中の審査状況)

3月定例会で否決となった「雲南市寄附によるふるさと政策選択条例の一部を改正する条例」について、今後の取り扱いを審査しました。

ふるさと納税の制度主旨や条例の目的に「寄附者の意向を反映する」とあり、これまでは寄附金全額を基金に積み、経費

や返礼品等の費用は原則一般財源を充ててきました。

条例改正の緊急性や必要性が乏しく調査・検討を指摘したものです。その結果、執行部からは、現行の条例で運用を図り、当面、条例改正は行わないと方針が示されました。

教育民生常任委員会

委員長 山崎 正 幸

(議案の審査)

委員会に付託及び委託された3件の議案について審査し、全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(予算の審査状況)

・土曜日の教育支援事業

これは市内の中学校ごとに1名を選び、グローバルな視点を持つリーダー層の育成を図ることを目的に、「2016プラチナ未来人材育成塾@会津」へ派遣するもの

です。

この補正予算101万1千円について、土曜日の学習とプラチナ未来人材育成塾とどう関連するのかと問い、いろいろなプログラムはあるが、キャリア教育という観点から土曜日学習を充実させるため事業推進を図りたいと答弁がありました。この事業は新規事業として取組むものであることから、部局として情報収集に努め、当初予算

に組み込むべきとの意見を付しました。

・高年齢者による地域活性化促進事業

これは、基調講演や先進事例発表等のフォーラムを開催し、地域の誰もが生涯健康で生き活きと参画し続けられる社会の実現を図ろうとするものです。

この補正予算100万円は、高齢者が主体的に社会参画できる地域づくりのために、各地域自主組織、行政関係部局等が協議し、実現を目指すものです。地域自主組織の



ブラチナ未来塾イン会津

関わりについて了解はさ
れているかとの問いに
対して、自主組織には
まだ伝えていないが、
早急に結めると答弁
がありました。

何ごとにおいても地
域づくり事業は地域
自主組

織が主体となり推進
されている。各地域
の取組みに差がある
ので、理解を得るこ
とを優先すべきで
はとの問いに、地域
自主組織に過度な負
担にならないよう配
慮するとの答弁があ
りました。

産業建設常任委員会

委員長 周藤 正志

(議案の審査)

委員会に付託及び委
託された8件の議案
について審査し、全
て原案のとおり可決
すべきものと決定
しました。

(条例等の審査状況)

・公の施設の指定
管理者の変更につ
いて

これは、雲南市木次
堆肥センターの指定
管理を現在受けてい
る会社からその同族
会社へ移行するもの
です。この施設では
家畜ふん尿だけでなく
下水道汚泥の堆肥化
も行われていること
から、産業廃棄物の
適正管理を徹底す
るよう求めました。

・市道の路線廃止
と路線認定につ
いて

これは、道路台帳の
統合及び電子化に伴
い、従前の2,315
路線を一括廃止して
、新たに再編した2,
373路線を一括認
定するものです。道
路台帳整備には、9,
300万円を要して
お

り、毎年500万円
の更新費用がかかる
ため、今後、上下水
道や固定資産税など
を含めた統合型GIS
システムの検討が必
要と指摘しました。

(予算の審査状況)

・漏水減免による
還付金
今年1月の水道管凍
結

により発生した漏水
に対し規程に基づき
減免するものです。
簡易水道事業では
45万円、水道事業
では157万円、生
活排水処理事業では
196万円計上され
ました。上下水道あ
わせて大東町は67
件、加茂町74件、
木次町120件、三
刀屋町77件、吉田
町14件、掛合町37
件の減免申請が出
ており、順次交付決
定をし、還付する
との説明でした。改
めて市民に対して凍
結防止対策の周知徹
底を図るよう求め
ました。

・経営体育成交付金

この1,378万7千
円は何かとの問い
に、3つの農事組合法
人に対する機械及び
施設整備に関する
国の補助事業であ
るとの答弁でした。

・中山間地域等担 い手収益力向上支 援事業補助金

この110万円は
何かとの問いに、
国のTPP関連対策
により新たに取
り組まれる事業
であり、5月に設
立された大東町

塩田地区の農事組
合法人が行う高収
益作物の作付に
対する補助であ
るとの説明でした。

・企業誘致推進 事業

この558万1千
円は何かとの問い
に、中心市街地活
性化事業区域へ
進出意向があった
ビジネスホテルを
誘致するに当た
り、支障となる建
物等の補償費用を
算出するための調
査委託費で、地権
者との交渉も始ま
ったばかりである
との答弁でした。



中心市街地

一般質問

一般質問のページは質問者本人の責任のもとに原稿を掲載しました。また質問項目すべてを載せているものではありません。

10名の議員がズバリ市長に問う

たたら製鉄の世界遺産登録は



堀江 治之

問 たたら製鉄の日本遺産認定を受け、世界遺産登録に向け積極的に取り組むのか。

答 鉄の道文化圏推進協議会（安来市、奥出雲町、雲南市）で、日本遺産を申請する際に、次は世界遺産登録を目指そうという確認を行った。

問 国から策定が求められている災害時業務継続計画の策定状況は。

答 国からガイドライン

が示されているが、現在未策定であり、今年度中に着手し遅くとも平成29年度末までに策定する。

問 国、県に対し斐伊川河川敷の環境整備の要望活動が行われていたが、その後の状況は。

答 国の河川整備には、川まちづくり事業の活用が最も実現性が高く、斐伊川水系河川整備計画の中に、川まちづくり事業が盛り込まれている。

問 JR西日本の豪華寝台列車「瑞風」の乗客が立寄る先（菅谷たたら山内、須我神社、食の杜）の受け入れ準備状況は。

答 7月末までに受け入れを決定し、受け入れ環境をしっかりと構築できるように努めたい。

保育士・介護士の待遇改善を



細木 照子

問 保育所や介護施設はできて、保育士や介護士の確保ができず、利用者を受け入れられない。保育士・介護士は専門性の高い厳しい仕事であるが、平均月給が全産業に比べて10万円以上低い。

答 これでは辞める人も多し、なり手もない。待遇改善について国へ強力に要請すべきと考え。市長の所見は。

問 保育士・介護士の平均賃金は、かなり低い状況だ。介護報酬等、待遇改善に特に力を入れなくてはならない。全国市長会等を通じて、引き続き強力に要望したい。

答 5月に、邑南町で県道脇の雑木林から直径約

1メートルの岩が落ち、自動車を直撃する死亡事故が発生した。本市でも道路脇に危険を感じる箇所を見かける。樹木類の倒木も不安だ。事故防止対策は。

答 道路パトロールによる通常点検を月1回程度行っている。邑南町の落石事故を受け、市道53路線、農林道29路線を緊急点検した。

「菅谷たたら山内」50年の節目の年



佐藤 隆司

問 日本遺産認定をステップとし、世界遺産登録に向けての取り組みの課題、スケジュールは。

答 「たたら文化」を世界遺産に認めていただくことが一番の課題である。国際機関への情報発

信や市民と認識を共有し、継続的な仕掛けづくりはこれからとなる。

問 実現の一つの方向性を示す雲南市観光振興計画により、本市並びに菅谷たたら山内の更なるシティブロモーションの展開をどう図るのか。

答 市民に本市の幸である「たたら文化」に誇りを感じていただきたいが、鉄の道文化圏推進協議会での展開をしていくことがシティブロモーションにつながる。

問 「菅谷たたら山内」は、昭和42年に重要有形民俗文化財に指定され、来年は50年の節目の年。加えて映画「たたら侍」の全国公開もあり、絶好のタイミングだ。市内内外へのシティブロモーションをする企画構想はあるか。

答 観光振興計画に従いアクションプランを進める中で考えたい。

原発廃炉計画の問題点は



細田 実

問 島根原発1号機の廃止は、完了まで30年間に要する計画である。どのような問題点があると考えるか。

答 廃止計画は4段階に分かれており、今回の申請は第一段階の6年についての申請で、あとの24年間については示されていない。使用済み燃料、低レベル放射性廃棄物の処理先もはっきりしていないことも大きな問題と懸念される所だ。

問 放射性廃棄物が原発敷地内に保管される可能性はあるが、どのように考えるか。

答 安全で国民が納得する処理先が示されなければならぬ。それが示されれば、その時期までは、島根原発の敷地内に格納されることは理解せざるを得ない。

問 中国電力との安全協定の締結を進めよ。

答 今後も3市で連携し、締結に向け取り組む。

問 頻発する地震による「原発震災」が心配だ。

答 原発震災が起きないよう国が対策を講じ、万一の場合の避難計画を確立をさせなければならぬ。

地域自主組織の報酬水準は



白築 俊幸

問 地域自主組織は、マンパワー不足から、役員報酬に苦慮されているところも多い。しかし、現在の役員報酬は基本的にボランティアのレベル

である。今後、若い人に自主組織を担って貰うためには、もっと魅力ある報酬にすることが必要ではないか。

答 現行の報酬は、子育て世代の方が生計を営んでいけるほどの水準ではない。しかし、現在の財源の枠組みを考えると、増額は難しい。このため、例えば、様々な市の業務を選択制で受託して貰い、一定の水準が確保できるような仕組みがとれないか、検討している。また、後継者の確保策として、大人版の幸運南塾による人材育成も進めている。

問 市では、昨年度、ジビエの調査・研究を行ってきたが、その成果を踏まえ、今後、どのような展開を図るのか。

答 解体処理施設を運営していける主体性をもった事業者の選定を進め、経費支援をしていきたい。



*ジビエ… 食材として捕獲されたイノシシ等の野生鳥獣

地域課題解決は若者誘致と育成



松林 孝之

問 本年度の市内中学校から市外普通高校へ進学した生徒数と割合、また市外から市内3高校へ入学した生徒数は、市外高校へは48名で

全体の14%。市外からは58名、県外から3名入学。生徒の絶対数が減少する中、教育委員会として進路指導の方針は、

答 進学先については、市内外問わず、生徒・保護者の同意をもとに校内進路指導委員会が行なう。

問 中学校と高校の相互の繋がりは。

答 一貫教育を重視していることから、地元中学と地元高校を繋ぐキャリア教育を推進している。

問 市内3高校へ市外からの入学生を増やす施策で若者誘致を図っては。

答 本年度開始した寮費助成や市民バスのダイヤ改正で成果が上がった。今後も更に検討する。

問 大東野球場は硬式対応であり、隣接施設の危険度は非常に高い。利用者の安全性が最優先。防護フェンスの設置を。

答 野球とサッカーの利便調整を図るとともに、フェンスの設置を実施計画に盛り込む。

一般質問



中村 辰眞

内部障がい
ヘルプマークを

問 見えない障がいを示すものとして、ヘルプマークが有効である。導入の考えは。

答 ヘルプマークは障がい者自身が支援を求める意思を表示するものである。まずはその必要性等を福祉関係団体から意見を伺い、今後、本市としての取り組みを検討していきたい。実施に当たっては、広域的に進めることが望ましい。

問 滞在型観光振興の環境として、市内に点在するオロチ伝説ゆかりの地にオロチのオブジェを隠しておき、オロチポイントを設定し、オリエンテering風のオロチ探検というような企画を考

えてはどうか。

答 観光客の消費を促す方法として、滞在時間を長くすることが非常に有効な手段であると認識している。他の観光地においてもオリエンテering、またはスタンプラリー等が実施されている例も多くあると承知している。これらを本市での観光イベントとして活用できないか、情報収集をしながら検討していきたい。

地域に保育機能を
確保すべきだ



原 祐二

問 幼稚園の統合を検討する対象地区（佐世、寺

領、西日登、鍋山）から保育所に通う幼児の合計人数は135人、保育所・こども園のない小学校区こそ幼稚園をこども園

化し、地域の子育て環境を充実すべではないか。
答 現在、こども園化の計画はないが、今後の幼児数の推移などを見据えながら、次の段階として検討したい。



寺領幼稚園

問 地域の子育て環境の充実となる幼稚園のこども園化は、小学校の存続にも影響を与えるのでは。
答 幼稚園の存続と小学校の存続は、大変関係が

あり重要だと認識している。地元の意向、保護者のニーズ等を調査した上で、幼稚園のこども園化を検討したい。

問 保育ニーズの高い中心部（斐伊・三刀屋）のこども園は、0歳から2歳の受け入れにより保育の充実を図るべきでは。
答 指摘の地域では、3歳未満児・乳幼児の保育ニーズに対して供給数が不足している。早急に対応を検討したい。

あり重要だと認識している。地元の意向、保護者のニーズ等を調査した上で、幼稚園のこども園化を検討したい。

道路の異常を
通報しやすく



土江 良治

問 落石事故や転石があっても、通報しようにも山奥では現在地がわからないうえ、通報先もわからない。看板の更新と位置特定の標示を。

あり重要だと認識している。地元の意向、保護者のニーズ等を調査した上で、幼稚園のこども園化を検討したい。

答 既存看板も含め路線名、連絡先を入れる。また現在地もわかるようにしたい。

問 担い手不足や限界集落が増えるなか、耕作放棄地対策に手一杯のところへ放置竹林の面積が拡大、隣地山林はもとより、空き家の庭先にはびこる。この現状をどう捉えているのか。
答 防災や環境保全、有害鳥獣等からその対策は急務と認識している。

問 国は来年度から耕作放棄地の固定資産税増税を決めている。竹林についても心配だ。適切な管理を促すため、竹林縮小を促す林地適正管理条例を設け、所有者に補助し、是正措置を求めているかどうか。
答 民法の規定を越える条例の制定は困難。県等の補助事業活用のほか、市として支援策を検討、取り組む。

カタログギフト
事業の継続を



周藤 正志

問 初めて取り組んだプレミアムカタログ事業は、市内の特産品等をPRし、消費・販路拡大につなげる良い企画であり、豪華な返礼品を競うふるさと納税よりも適切だ。適当な価格設定など工夫をして継続すべきだ。

答 設置するカタログ作成委員会での反省・課題を踏まえ、より良いものになるよう検討し、今年度も実施する。

問 県内で一番宿泊率の低い本市にとって、宿泊客を増やすことは、観光・交流人口拡大と外貨獲得のためにも必要な施策だ。誘致するビジネスホテルと改築する清風荘は、その拠点として位置

づけ、既存宿泊施設へも配慮しながら取り組むべきだ。

答 清風荘は宿泊戦略のリーディングプロジェクトと位置づけ、またビジ

ネスホテルは、他市へ流れているビジネス客のダム効果のためにも必要である。多くの方に滞在していただく受け皿として、全力で取り組んでいく。

ついでに湖お花見レガッタ出場

松林 孝之

5月15日(日)尾原ダムさくらおろち湖にて、恒例の「第5回お花見レガッタ」が開催されました。

当日は「第4回さくらおろち湖ウォーク大会」も開催され、好天のもと市内外から訪れた参加者や応援で、大変な賑わいでした。

大会への参加クルーは57チーム約400人。我々チームは、昨年は男子シニアの部に参加し、思いがけないアクシデントでの失格。今年は、雲南男子の部にエントリーしま

した。

「去年のリベンジ」と意気込んだものの、一度も練習することが出来ず、ぶっつけ本番のチャレンジとなりました。

結果はともかくとして、今年も参加できたことを嬉しく思いました。

今年も、当会場で全国高校総体のボート競技が開催されます。

全国から集まる選手や応援団の皆様にとって、「良い思い出になる大会」となることをお祈りしております。



おめでとーございます

永年の地方自治の発展に貢献した功績により、次の議員が表彰をうけました。

● 中国市議会議長会表彰

議員特別表彰

(議員12年以上)

細木 照子 議員

正副議長普通表彰

(正副議長3年以上)

藤原 信宏 議長

※中国市議会議長会の規程で町村議員期間はそのまま市議会議員の期間に加えられます。

選挙公営制度について

選挙運動費用に関する公費負担制度（選挙公営制度）は、市長及び市議会議員に立候補しやすい環境を整えることを目的としていきます。つまり、候補者の負担を減らし資産の多少に関わらず立候補や選挙運動の機会を持てるようにするものです。

公職選挙法に基づき、町村を除く地方自治体が国政選挙に準じる内容で条例により制度化します。

雲南市では、平成24年執行の市長及び市議会議員選挙からポスター作成経費の公費負担が実施されました。しかし、選挙運動用自動車経費等については、公費負担はありませんでした。そこで、本年執行予定の市長及び市議会議員選

挙について、県内他市では既に実施されていること等から選挙運動用自動車経費等を公費負担されることになりました。

これにより、次の三つが公費負担となりました。

1 選挙運動用自動車にかかる経費（拡充分）

レンタカー契約、燃料の代金、運転手に支払う報酬あるいはハイヤー契約の料金がこれに当たります。

2 選挙運動用ポスターの作成に係る経費（既制度分）

3 選挙運動用ビラの作成に係る経費（拡充分）
ただし、市長の選挙に限りません。市議会議員の選挙ではビラの配布は禁止されています。

雲南市立病院の改築事業

命を守る2次医療の中核病院である雲南市立病院は、平成27年9月に工事契約を締結し、11月から文化倉庫、医師住宅等の解体工事、南棟4階の改修工事、外構工事、エネルギー棟工事に着手しました。

そして、南棟4階の改修は、本年3月末に完成し、4月17日に介護療養病棟の移転引越しを行いました。



解体前



解体後

また、文化倉庫・医師住宅解体工事、用排水路移転の第1期工事、エネルギー棟建設工事の一部を3月末に終わっています。

4月下旬からは、旧ふれあい病棟の解体・撤去を行っており、7月上旬には解体終了の予定です。

7月16日には解体された跡地にて、新本館棟の起工式を行う予定です。

本年度は、旧ふれあい病棟解体と新本館棟の基礎工事を中心として行われます。

平成30年3月末を目標に新本館棟での開院を目指しています。



介護医療病棟

議会報告会

開かれた市議会を指し、市民の皆様からの声を直接お聴きする「議会報告会」を市内各地域で開催しています。

今回は4月27日～5月19日の間、4会場で開催し、男性104名、女性14名、全体で118名の皆様にご参加いただきました。市政及び議会活動に対する多くの意見の中から一部を所管別に掲載します。

【議会運営委員会】

◆議員の仕事の中に、行政のチェックと市民と行政とのパイプ役があるが、行政と市民との間が非常に遠い。市民とのつながりを強くするため、議員はもっと市民とのつながりをもって欲しい。それが市民の気持ちを行政に反映させる道だと思ふ。

【総務常任委員会】

◆住みやすい町、全国ベ

スト10に雲南市が入った。人口の社会増という中で、雲南市にとってはチャンスだ。市として、どう捉え、どうアクションを起こすのか。

◆自治会集会所建設費補助金は非常に良い制度だ。しかし、申請が多い場合この予算で足りるのか。補正予算で今年度対応する見込みはあるのか。

◆総合センターの縮小で、運動会やイベント等の協力が得られなくなる。何でも中央集中という考えでは、周辺部はさびれるばかりだ。

【教育民生常任委員会】

◆少子高齢化が深刻な問題だ。子ども達の為に、統合が決定したので、厳粛に受け止めたい。子ども達の為に閉校、統合しなければならぬのも事実だ。

◆第3子以降保育料無料化が掲げられているが、邑南町は第2子から無料だ。Uイターンを促進するのなら、どこよりも良い

条件にしては。

◆カタカナの教育用語が多い。カタカナ用語で資料を提出されても分からない。誰にでも分かるような資料を作成して欲しい。

【産業建設常任委員会】

◆中山間地では、それなりの農業の取り組みがある。昔ながらの田畑を守り、赤字覚悟で農家を営んでいる。その方達が補助や支援を受けられるような施策を、議員が提案してほしい。

◆除雪に関し、本庁から各地域の積雪の監視もできにくいと思うが、出来るだけ迅速に通勤、通学の便を考慮してもらいたい。降雪も多く特別な地域なので、特別な配慮、便宜を図ってほしい。

◆雲南市産品の販路拡大事業で、当初予算より3月補正予算で増額したというのだが、結果的に販路拡大はどうなったのか。

編集後記

現役大統領で初めて被爆地ヒロシマへ訪問したオバマ大統領。慰霊碑への献花、スピーチの後、被爆者代表坪井直直さんは、「大統領退任後も広島に来てください。核兵器のない世界に向けて、あなたと共に頑張ろうと思おう」と大統領に訴えた。歴史的な瞬間であった。昨年5月、核兵器不拡散条約運用検討会議が開催されたが、核戦力の透

明性の確保、世界の政治指導者及び若者の広島・長崎訪問、核軍縮、核不拡散などが盛り込まれた最終文書は、残念ながら合意に至らず終了している。世界第2位の核保有国アメリカ。その大統領の被爆地訪問が世界の核兵器排除、核軍縮に向け、大きく前進することに期待している。

先人曰く「政治家が何を言ったかではなく、何をしたかを見極めるべきである」と。

ご意見お待ちしております

議会活動、議会広報、議会ホームページについてご意見や感想などお気づきの点をお寄せください。
(回答が必要な場合は連絡先を明記してください)

雲南市議会事務局

電話：(0854) 40-1004
FAX：(0854) 40-1009
MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp

議会広報広聴特別委員会

委員長	西村 雄一郎
副委員長	白 築 俊 幸
委員	松 林 孝 之
	中 村 辰 真
	原 祐 二
	矢 壁 正 弘
	深 田 徳 夫
	周 藤 強